学校番号	T3009

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新　高校の数学A（数研出版）						
副教材等	自作プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学Aでは、場合の数と確率及び整数の性質を中心に学びます。これらを通して、身の回りの事象を数学的に考察し、処理する力を身に付けていきましょう。
・授業回数が少なく、一回の授業がとても深く濃い内容になっていますので、しっかり集中して授業に取り組みましょう。
・授業では、毎回課題（レポート）が配られます。決められた期日を守り、きちんと提出しましょう。
・分からない箇所があれば積極的に質問し、苦手をひとつずつ克服していきましょう。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】
場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察したりすることができる。	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章　場合の数と確率	第1節　場合の数	a:場合の数の基本的な考え方を理解するとともに、場合の数を求めることができる。 b:日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、場合の数を求めることができる。 c:場合の数の考え方の有用性を認識し、活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
		第2節　確率	a:確率の基本的な考え方を理解するとともに、ある事象が起こる確率を求めることができる。 b:日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、その事象が起こる確率を求めることができる。 c:確率の考え方の有用性を認識し、活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
		パフォーマンス課題① 「くじを作ってみよう！」	b:与えられた期待値となるように、自分なりの表現でくじを作成することができる。 c:どのようなくじに魅力を感じるかに着目し、積極的にくじを作成している。		発表 ワークシート	ワークシート
後期	第3章　数学と人間の活動	数学と人間の活動	a:約数と倍数の性質を理解するとともに、それらを求めることができる。 b:日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり考察したりすることができる。 c:約数や倍数の考え方を用いることの有用性を認識し、活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
		パフォーマンス課題② 「数学パズルに挑戦！」	b:様々な数学パズルについて考察し、解法について説明することができる。 c:様々な数学パズルに積極的に取り組み、数学的な観点から解法について考察している。		発表 ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度